

## 一般廃棄物の現況と推移(令和2年度実績)

### 1 ごみの排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

- 令和2年度の県内のごみの総排出量は814千トンで、県民1人1日当たりの排出量は977g/人日（前年度13g/人日減）でした。
- 平成16年以降減少傾向にあった総排出量及び1人1日当たりの排出量は、平成23年度において東日本大震災の影響から大きく増加し、以降も毎年度減少傾向ではあるものの、高い水準で推移しています。

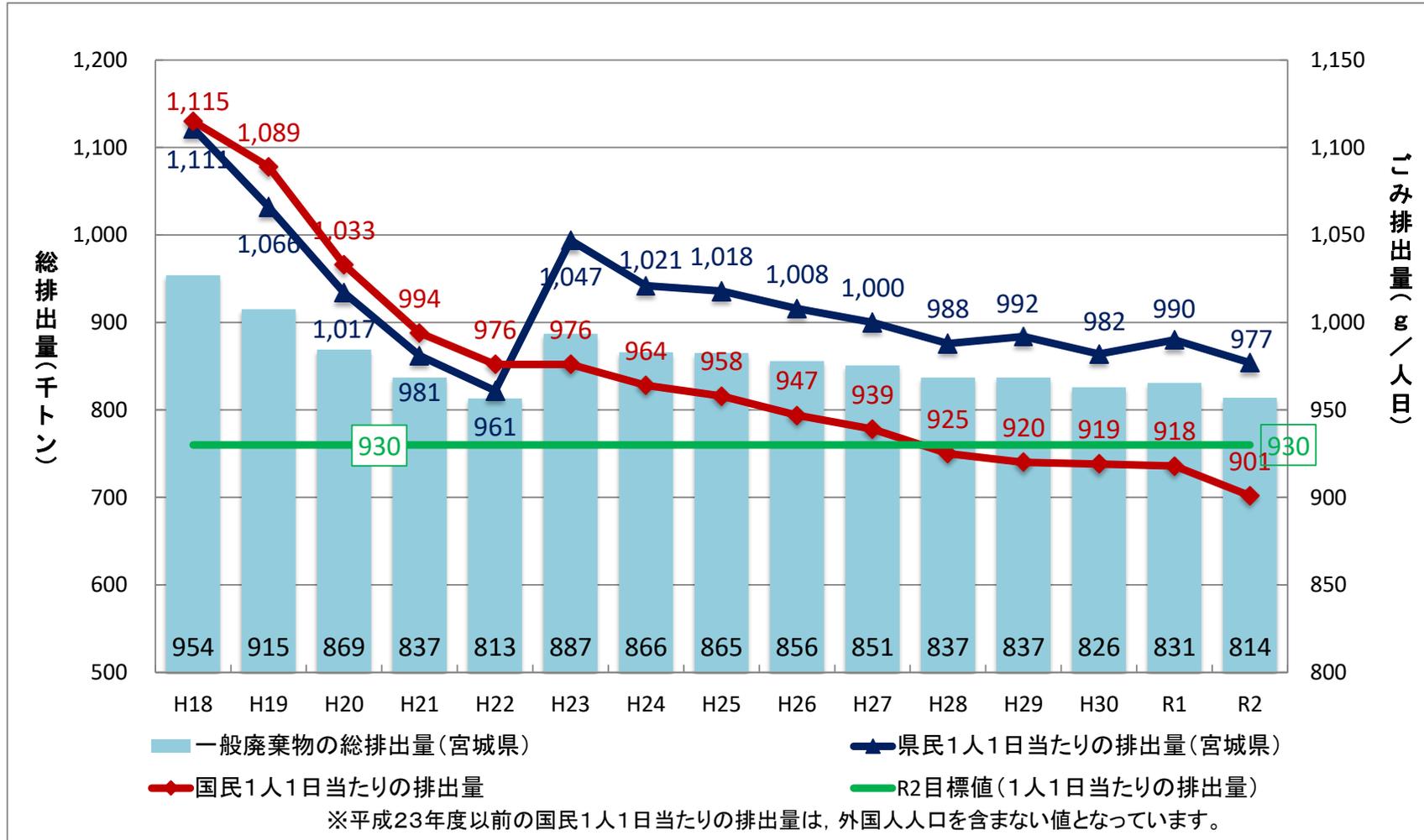


図1-1 ごみの総排出量の推移

○ 令和2年度の県民1人1日当たりの排出量は、生活系が696g/人日（前年度13g/人日増）、事業系が281g/人日（前年度26g/人日減）でした。

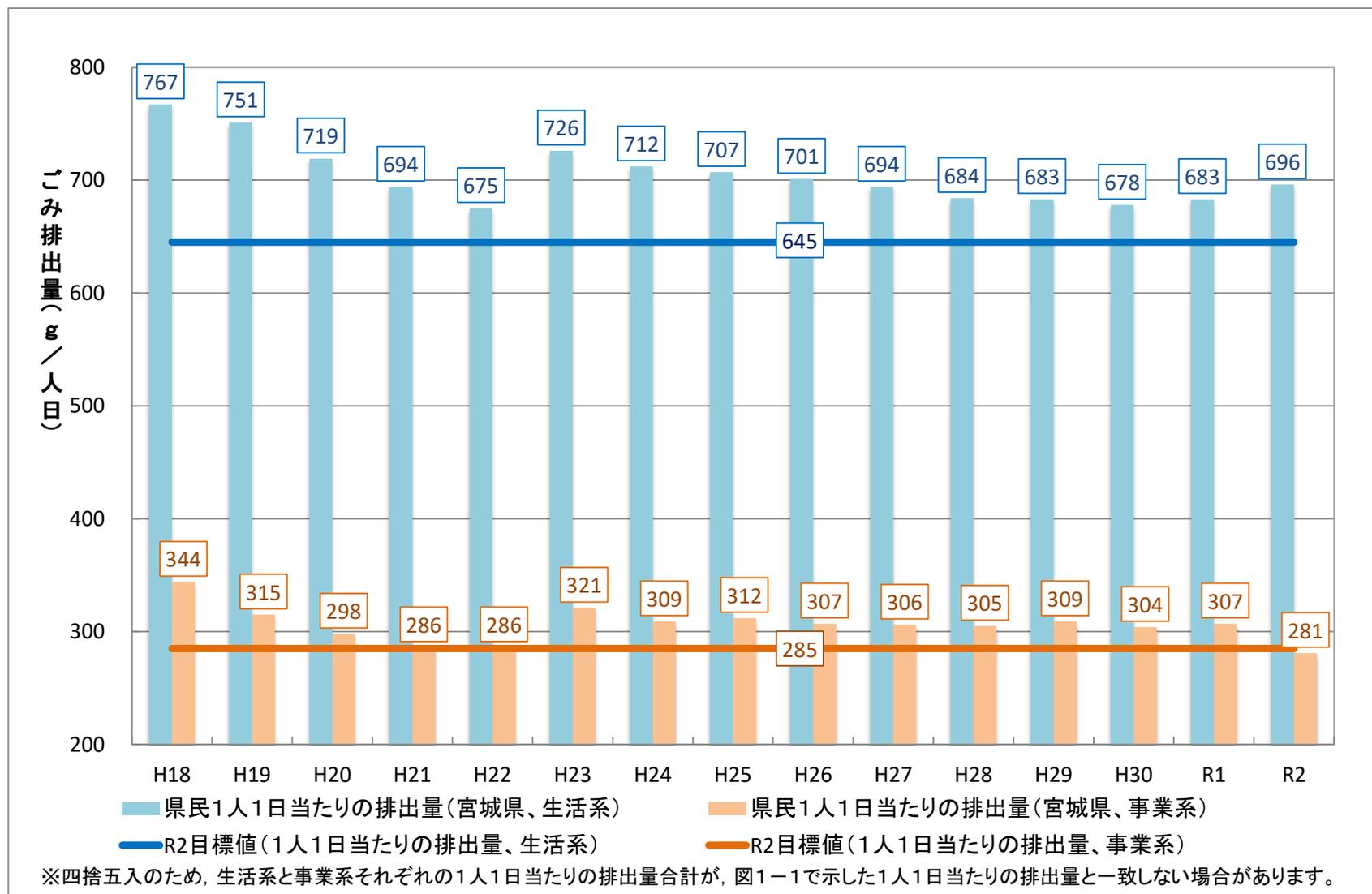


図1-2 1人1日当たりの排出量の推移

## 2 一般廃棄物のリサイクル（再生利用）率の推移

- 令和2年度の県内の一般廃棄物のリサイクル量は128千トンで、これに事業者の自主的再生利用の実績（90千トン）を加えた宮城県内のリサイクル率は、24.2%でした。

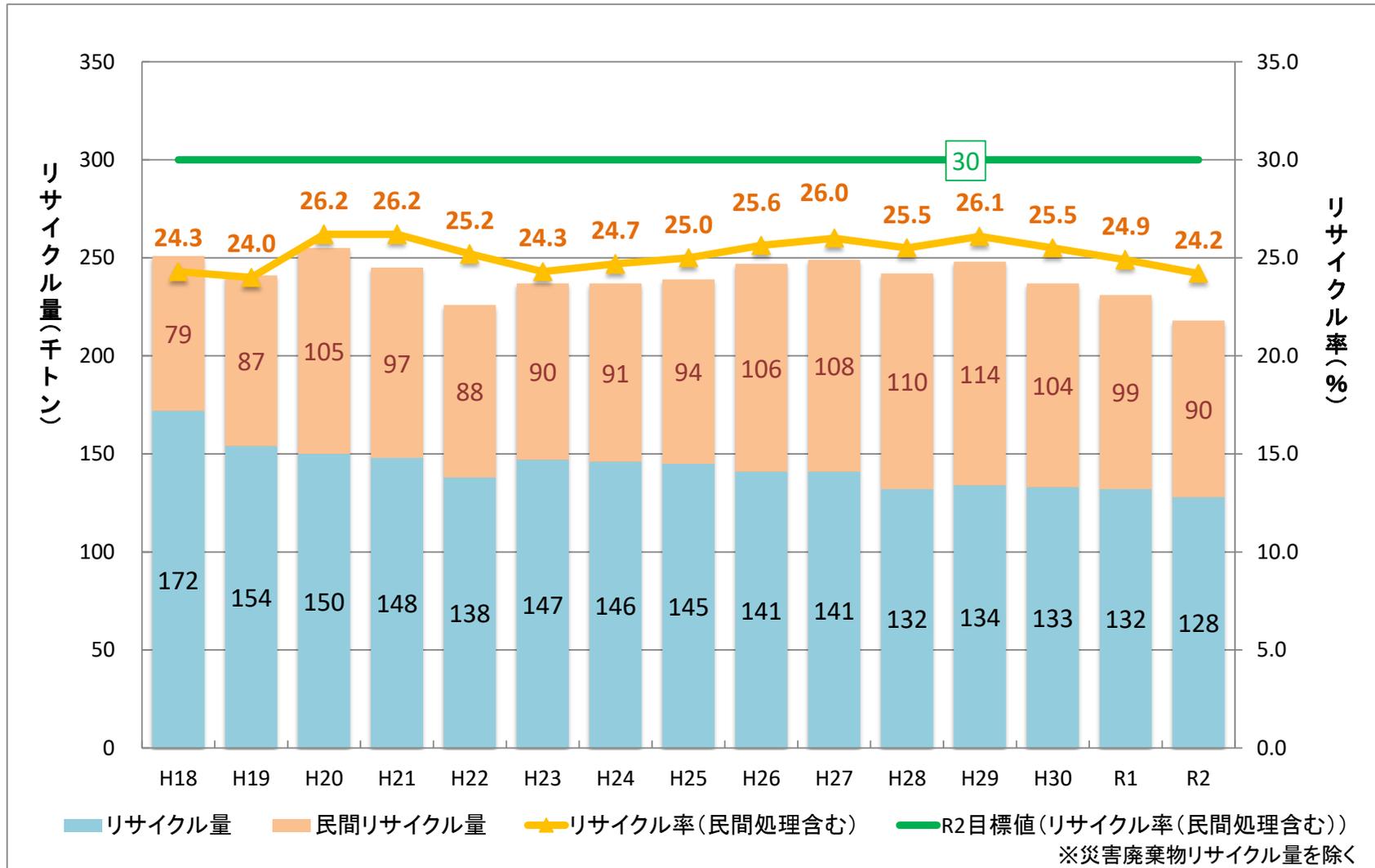


図2-1 県のリサイクル率の推移

○ 事業者の自主的再生利用を除く再資源化量は128千トン、リサイクル率は15.8%で、昨年度より減少しました。また、リサイクル率は全国平均と比べると大きく下回っています。

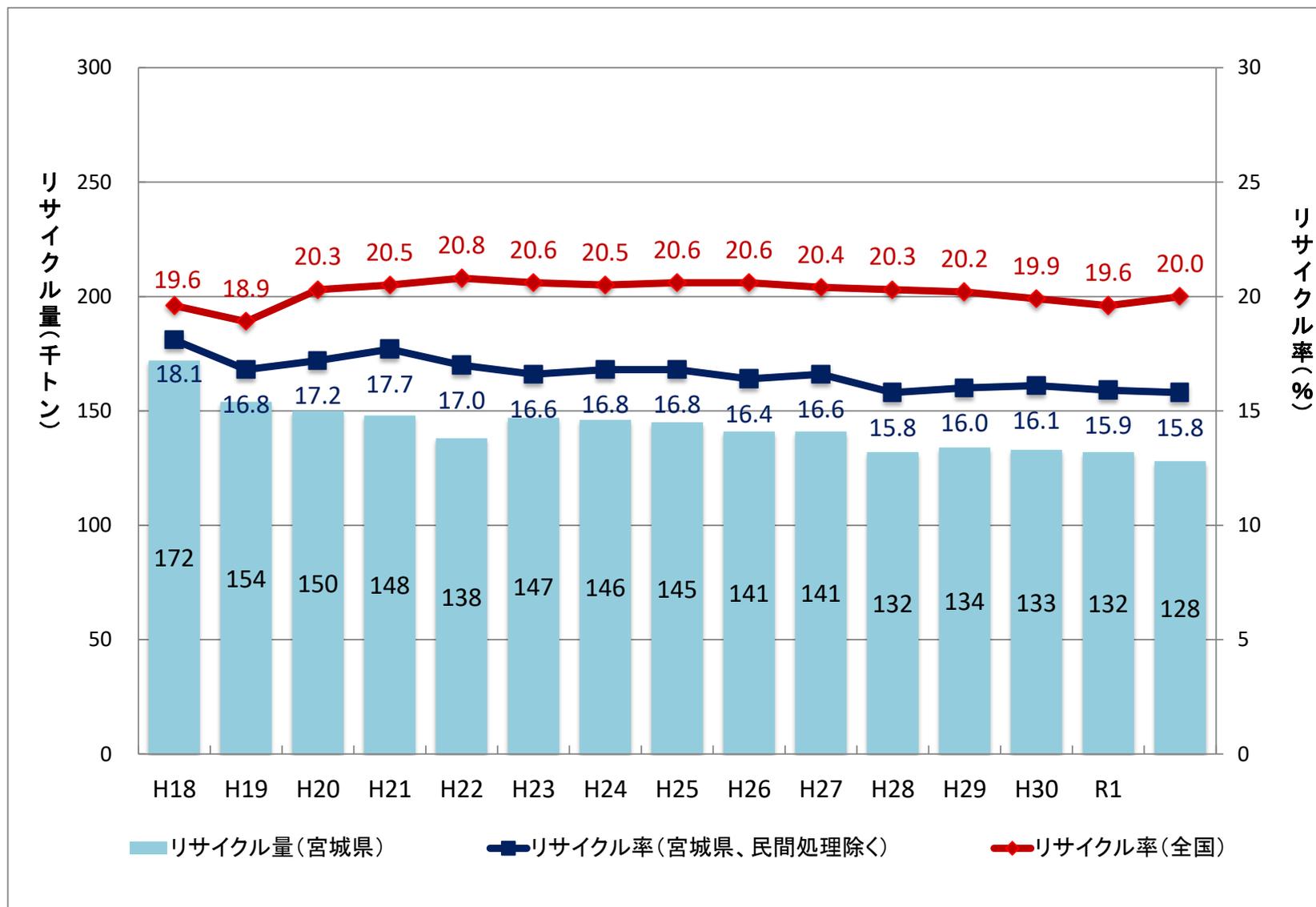


図2-2 県と国のリサイクル率の比較

### 3 一般廃棄物の最終処分量・最終処分率の推移

○ 令和2年度に埋立場へ最終処分されたごみは97千トンで、令和元年度より減少しました。最終処分率については、令和元年度より増加していますが、目標を達成している状況です。

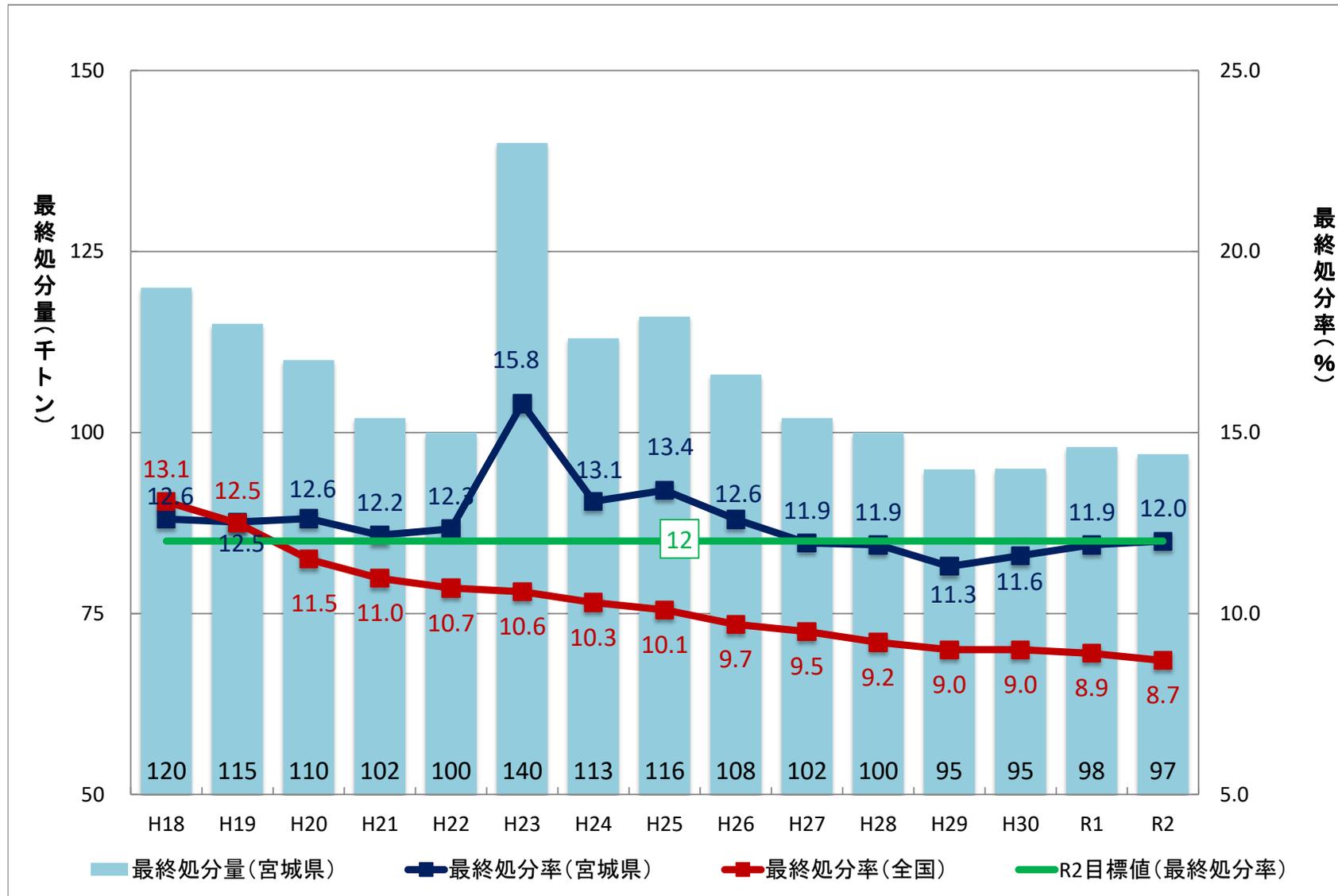


図3 最終処分量及び最終処分率の推移